

2006年10月 = 先月の重大ニュース =

総合学習を抜本見直しへ

「ゆとり教育」の柱になっている「総合的な学習の時間」のあり方について、文部科学省は次期学習指導要領で、抜本的に見直す方針を固めた。一部の学校で総合学習が教科の補習や行事の準備に使われるなど、いまのままでは学校間の取り組みに差がありすぎるため、身につけるべき力を定め、評価をより明確にすることを検討している。教科学習に近づくことで、導入当初の「一律的な評価はしない」という目的から転換する可能性もある。(3日)

ピロリ菌感染歴、胃がんリスク10倍

人の胃にすみ着く細菌ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)に感染したことがある人は、全く感染したことがない人に比べ、胃がんになるリスクが10倍に跳ね上がることが、全国4万人余りを対象にした厚生労働省の大規模疫学調査で分かった。(4日)

起立性調節障害、中学生の1割に症状

血流の低下で子どもたちが体調を崩し、不登校の原因になることもある「起立性調節障害」の診断・治療ガイドラインを日本小児心身医学会がまとめた。思春期特有の病気で、午前中を中心に、頭痛、倦怠感、食欲不振、立ちくらみなどの症状が出る。朝、きちんと起きられず、親や教師からは「怠け癖がある」「夜更かしが原因」などと受けとめられがちだが、適切な治療をしてもらうのが狙い。中学生の約1割に症状がみられ、起立性調節障害と診断された子どもの約4割が不登校という。(10日)

秋篠宮家の新宮さまのお名前は「悠仁(ひさひと)」

6日に誕生した秋篠宮ご夫妻の長男(親王)の名前が「悠仁」に決まり、「命名の儀」が一般のお七夜にあたる生後7日目の午後、紀子さまとお子さまが入院している愛育病院(東京都港区)で行われた。名前のご夫妻で相談し、秋篠宮さまが決めた。「悠」には「ゆったりとした気持ちで、長く久しく人生を歩んで欲しい」という願いが込められているという。また、身の回りの品につける「お印」は「高野槇」と決まった。日本固有の常緑高木で、ご夫妻が「大きく、まっすぐに育てて欲しい」と選んだ。(12日)

児童の校内暴力が過去最多に

2005年度に公立の小学校内で児童が起こした暴力行為の件数は、前年度より6.8%増の2018件で、統計を取り始めた1997年度以降、過去最多となったことが、文部科学省の調査でわかった。特に教師への暴力は38.1%増の464件と、3年連続で増加率が30%を超えた。公立の小中高生全体の校内暴力も0.9%増の3万283件となり、2年ぶりに増加に転じた。調査は全国すべての公立小中高校が対象。(13日)

「指導力不足」の先生500人超す

授業内容や子どもとの接し方に問題があり「指導力不足」と認定された公立学校の先生が、昨年度は506人と、2年続けて500人を超えたことが文部科学省の調べでわかった。このうち111人が先生を辞めていた。全国の小中高校や養護学校などの先生約90万人を対象に調査。学校別では小学校50%、中学校26%など。(22日)

安倍総裁が第90代首相に

自民党の安倍晋三新総裁が党三役の人事で、幹事長に中川秀直政調会長(62)、政調会長に中川昭一農水相(53)、総務会長に丹羽雄哉元厚相(62)の起用を決定(25日)。安倍氏は、衆参両院本会議の首相指名投票で第90代首相に選ばれた。自民、公明両党による連立内閣が発足。(26日)